

『ガストース』の導入で人材不足を克服できます。

其の8 このシリーズの最終項

【人材不足を好機と捉え、賃金アップにつなげる】

離職者の補充をせず、さらに生産性を向上させるためには、省人化工場の実現が必須です。そのためには、まず明確なスローガンを掲げることをお勧めします。

■ 某社のスローガン

(例)「パトライトの点滅をなくし、無停止成形を実現させよう」

■ 人口減少と賃金上昇という現実

急激な人口減少と賃金アップが叫ばれています。スキルのある高齢者のリタイアが進み、人材の補充はますます困難になっています。

仮に現状の体制のまま人員補充ができたとして、本当に原価低減が進み、明るい未来を築けるでしょうか。

無理に人を集めようとすれば、高賃金を提示せざるを得ません。しかし、受注価格が改善できない限り、原価低減の問題を克服できず、確実に衰退していきます。

■ 生成 AI(ChatGPT)による将来見通し

製造業における人材不足と賃金アップの今後の推移について調べてみました。日本では、少子高齢化と人口減少を背景に、人材不足と賃金アップが社会全体の大きな課題となっています。製造業はその影響を特に強く受ける分野であり、今後の対応次第で企業間格差が大きく広がると考えられます。

■ 人材不足の現状

製造業では、若年労働者の減少と熟練技能者の高齢化が同時に進行しています。これにより、現場を支える人材の確保が年々難しくなっています。これは一時的な景気変動による人手不足ではなく、構造的な問題である点が最大の特徴です。

■ 賃金アップの流れ

人材確保のため、製造業においても賃金は確実に上昇しています。特に大手企業を中心にベースアップが進み、その影響は中小製造業にも波及しています。今後も「人を採るための賃上げ」は避けられない状況が続きます。

■ 今後の推移(予測)

【短期】・人材不足は解消されず、賃金上昇圧力は継続・省人化投資を進める企業と、そうでない企業の差が顕在化

【中期】・外国人材の活用、自動化・DX 導入が進展・単純作業の人手は減少し、高付加価値業務を担う人材の重要性が高まる

【長期】・人材不足は常態化・「人に依存しない生産体制」を構築した企業のみが安定成長・賃金は上がり続け、生産性向上なしでは経営が成り立たなくなる

■ 製造業が取るべき方向性

・省人化・自動化による生産性向上 ・成形条件の固定化、無停止成形による現場負荷低減 ・人手に頼らない金型・設備への投資 ・賃金アップを吸収できる原価構造の確立。人材不足と賃金アップは「コスト増」ではなく、製造業が体質を強化するための大きな転換点と捉えることが重要です。

ここまで生成 AI での見通し終了

■ ガスベント詰まりが引き起こす品質不良

「人材不足克服 其の 1～其の 7」でも解説してきましたが、時系列で見ると、ガスベントが詰まり始めることで排気力が低下し、それに伴ってさまざまな品質変化が発生します。

【ベント詰まりから発生する主な品質不良】

1. ショート、ウェルド 金型内の空気排出量が低下、内圧が上昇します。

その反発により樹脂の流速が低下して発生します。

2. ヒケ、気泡 排出されない空気が肉厚部表面に残ったものがヒケ、内部に残ったものが気泡です。

■ 条件調整が招く二次不良の連鎖

これらを改善しようとして、金型温度・樹脂温度・充填圧を調整すると、バリ、変形、反りなど二次的な品質不良が次々と発生します。最終的にガス焼けが発生すると、成形条件での対応は限界を迎え、現場は「ギブアップ」せざるを得ません。

しかし、金型のガスベントを中心に清掃すると、必ず元の状態に復帰します。これは、現在生産されている殆どの金型に当てはまる事実です。

■ なぜ、これらの問題は何十年も続けられているのか。

品質不良の内容ごとに対応策を講じる、いわゆる“モグラ叩き”を何十年も繰り返してきました。その根本原因は、金型に十分なガスベントが設計されていなかったことにあります。

そして、その責任の多くを成形技能者が背負わされてきたのです。

■ 『ガストース』導入に秘めた理由

1. 圧倒的に高い排気効率： 『ガストース』は、単位面積当たりの排気効率がストレートガスベントと比べて 10 倍以上高い性能を持っています。
 2. 交換するだけで導入可能： 『ガストース』は、突き出しピンにガスベント機能を付加した製品です。 現在使用している突き出しピンと交換する又は本数を増やすことで長時間無停止成形が実現できます。
 3. 導入メリット： 成形条件の固定化、無停止成形、成形サイクル短縮、品質不良低減、捨てショット・パージ・不良品の削減など、多くの課題を同時に改善できます。
-

■ 究極の人材不足対策とは

究極の人材不足対策は、「無停止成形」を実現することです。 そのために行うべきこと《たった一つ》ガスベントを増やすことです。

毎回の生産数終了まで無停止成形ができる金型へ改善することです。

具体的には、突き出しピンを『ガストース』へ順次入れ替えていくだけです。

『ガストース』は、パトライトが点滅しない無停止成形工場を実現する、極めて有効なツールです。

■ 【意見】活用のカギは「上意下達」ではない

『ガストース』の活用は、上意下達では成功しません。 経営者、現場責任者、成形技能者、品質管理者、金型設計者が共通のテーマを理解し、同じゴールを見て取り組むことが不可欠です。

■ 具体的な手立て(提案)

- (1) スローガンを全員で共有する： 「パトライトを点滅させない工場をつくる」
- (2) 無停止成形を“現場の誇り”にする： 止めないこと＝技術力、と位置づける。
- (3) ガストースを“責任転嫁をなくす道具”として使う： 人ではなく、金型で解決する文化をつくる。

(4) 成功事例を現場で共有する： 停止回数・不良率・工数などを数値で見せる。

■ おわりに

『ガストース』は単なる部品ではありません。 人材不足時代を乗り切るための「考え方を変える道具」です。

ぜひ、共に取り組める仕組みづくりを進めていきましょう。

人材不足＝体質強化の転換点

ガストースは部品ではなく“考え方を変える道具”

※『ガストース』の導入で人材不足を克服できます 其の1～其の8までのシリーズは、今回で終了となります。

全8回にわたりご覧いただき、誠にありがとうございました。

本シリーズの内容が、「ここが役立った」「ここはもっと知りたい」など、現場目線でのご感想をぜひお聞かせください。

いただいたご意見は、今後の製品改良や情報発信のテーマ選定に直接反映させていただきます。

お手数ではございますが、下記より Microsoft Forms にて、全8回をお読みいただいたご感想についてのアンケートにご協力をお願いいたします。数分でご回答いただける内容となっております。

皆様の率直なお声を、心よりお待ちしております

※期限 2026 年 1 月 9 日迄で願います。

[「ガストース」の導入で人材不足を克服できます。8シリーズお役立ち情報 読後アンケート](#)

2026 年 1 月より、毎週火曜日にブログを発信していきます。

作成者 脇山高志